収納の価値の評価と自室の収納状態の自己評価が 自室満足感に与える影響

○藤井沙織¹・羽生和紀²

(¹ 日本大学大学院文学研究科・² 日本大学)

キーワード: 収納, 満足感, 重回帰分析

Effects of value of storage evaluation and state of storage self-evaluation in private room on a feeling of satisfaction of private room

Saori FUJII¹・Kazunori HANYU²

(¹ Graduate School of Psychology, Nihon University・² Nihon University)

Key Words: storage, a feeling satisfaction, multiple regression analysis

目的

日本の住宅面積を米国や独、仏と比較すると、平均的な新築一戸建ての床面積は半分〜80%程度だが、面積だけが部屋を狭く感じる原因ではもちろんない。部屋にモノがあふれて広く使えない(佐藤・関, 1988), 収納スペースに不満がある(新田, 1992)などその理由は多岐に渡り、特に収納に関しては、住宅における不満度が過去 30 年間で継続して高いといった報告もある(平岡, 2009)。また、収納が少ないと感じている人ほど部屋が狭いと感じている傾向が強い(中島・松本, 1974)といった知見もあることから、収納は住宅において考慮すべき問題のひとつであると考えられる。

収納という概念は、主に整理されていることとモノの量という要素で捉えられていることが示唆されている(藤井・羽生, 2009)。しかし、藤井・羽生による研究はあくまでも現在の収納状態に重点を置いたものであり、収納を大切だと感じているかという、収納をどのように評価しているかの調査は行っていない。しかしながら、人が片づけや収納を上手くできないと感じる背景には物理的要因だけでなく、それらに対する意識といった個人の心理的要因が影響を与えている(Kendall・Tackett, 2003)といった報告もなされていることから、片付けや収納に対する価値の評価を知ることが重要だと考えられる。

今回の調査では、収納に対する価値の評価と自室に対する収納の自己評価がどのような関連をもつか、さらに、収納に対する価値の評価と自室の収納状態の自己評価が、自室の満足感とどのように関連しているのかについて主に検討した。

方法

大学生・大学院生 149 名(男性 64 名, 女性 84 名, 未記入 1 名, 平均年齢 19.88 歳, SD 1.53)に質問紙調査を行った。質問紙は、(a) 収納に対する価値を評価する収納評価尺度(藤井・羽生, 2009), (b) 現在の自室の収納状態を評価する収納自己評価尺度(項目は(a)と同じ), (c)自室の満足感尺度(丸山・羽生, 2007) の 3 つの尺度で構成した。

結果と考察

藤井・羽生(2009)は、収納は整理、蓄積、保管の 3 因子構造で捉えられることを明らかにしている。これを踏まえ、相関分析と重回帰分析を行った。

まず価値評価と自己評価間の関連を見るため、Pearson の相関係数を算出したところ、「整理」の項目において弱いながらも正の相関が見られた($r=.182, p<.05$)。「蓄積」と「保管」の項目に関しては、価値評価と自己評価の間での相関は見られなかった。次に、価値評価の中では、整理と保管($r=.337, p<.01$), 保管と蓄積($r=.286, p<.05$)の間で相関が見られた。さらに自己評価間でも、整理と保管($r=.245, p<.01$), 整理と蓄積($r=.572, p<.05$)とそれぞれ相関が見られた。

次に、価値評価と自己評価と自室満足感の因果関係を調べるため、収納自己評価得点を独立変数、自室満足感を従属変数とした重回帰分析を行った。分析の結果、収納自己評価得点のうち、「整理」に対する得点と、自室満足感の構成要素のひとつである「機能性」の間で有意な正の回帰係数が示された($\beta=.35, p<.01$)。

以上の結果から、「自分の部屋は整理ができてい」という整理に対する自己評価が、部屋の使いやすさに対する満足感に関して影響を与えているという可能性が示唆された。

今回の研究では主観的なデータのみを扱っているため、客観的な妥当性が保証されていない。今後は、写真などの客観的指標、実験的な手法を用いて検討を行っていく予定である。

引用文献

- 佐藤方彦・関邦博 1988 住環境とヒト 生理人類学の視点 井上書店
新田米子 1992 集合住宅における幼児・児童のいる世帯向け住戸計画について—神宮東パークハイツ(住宅・都市整備公団)における事例研究— 聖徳学園女子短期大学紀要 18, 91-101
中島一・松本壮一郎 1975 住宅における部屋の広さに関する意識調査 愛知工業大学研究報告 10, 209-214